

研究発表

印象記

南川整形外科病院 理学療法士 西村 勇輝

第14回肩の運動機能研究会に参加して



発表演題

ショートトーク：肩関節内転時における肩甲骨腕関節と肩甲骨の関係

■ 理学療法士 西村 勇輝

ポスター発表：静止立位姿勢の偏移が平地での投球動作に与える影響

■ 理学療法士 鶴田 崇

ポスター発表：ARCR3 ヲ月の shoulder36 に影響する術前因子

■ 理学療法士 竹嶋 誠

印象記

今年も日本肩関節学会と同時開催されている肩の運動機能研究会にて、当院の理学療法士 3 名が発表してきました。本研究会は全国の肩関節を専門とする熱い理学療法士と作業療法士が集う会です。また、今年は初めて肩の看護研究会が同時開催され、よりチーム医療を意識した質の高い学会となりました。そのような会で発表させて頂き、大変嬉しく思っています。

私は 4 回目の発表となり、回を重ねる度に様々な方との意見交換が行えるようになってきました。意見交換の中で、常に出てきていた言葉は『いかに患者さんにより良い治療を提供できるか?』というものでした。様々な意見を聞く中で、その答えは日々のリハビリを通し、患者さんと向き合っていくことで、見出せるものではないかと感じました。これからも、より良い治療を患者さんに還元できるように自ら発信していきたいと思えます。